

**DOWA**

**2010年度中間期  
決算補足資料**

**2010年11月11日**

**DOWAホールディングス株式会社**

# 経営成績の概要

単位: 億円

	2009年度 実績		2010年度 見込		増減			
	上期実績	通期実績	上期実績	通期見込	上期		通期	
売上高	1,296	3,074	1,810	3,600	514	40%	526	17%
営業利益	52	137	140	225	88	169%	88	64%
経常利益	47	138	145	230	98	209%	92	67%
当期純利益	18	43	75	115	57	317%	72	167%

- 上期実績では、前期比+40%の増収、+200%を超える経常利益増益を達成
- 自動車向けやIT関連分野の需要の回復を受け、全事業で増収増益
- リーマンショック後に実施した構造改革効果により、需要回復という追い風を逃さない事業体質へ転換
- 下期は一部製品に減速感が現れており、かつ80円/\$という円高水準を想定しているが、第1四半期に上方修正した年度の収益見込みを確保し、通期でも前期比増収増益を計画している

# 主要製品 販売量/処理量実績と見込

<2008年度上期平均実績を100として指数化>

2009年度・2010年度上期実績 2010年度下期見込		2009年度				2010年度			
		第1Q 実績	第2Q 実績	第3Q 実績	第4Q 実績	第1Q 実績	第2Q 実績	第3Q 見込	第4Q 見込
環境・ リサイクル	廃棄物処理量	91	105	122	122	120	117	138	136
	花岡土壌処理量	89	61	77	74	41	36	96	81
製 錬	金	201	131	159	227	170	105	216	253
	銀	164	119	144	150	154	89	142	129
	銅	95	96	111	123	116	114	121	122
	亜鉛	72	85	94	85	91	92	89	97
電子材料	化合物半導体	51	68	89	87	100	104	82	78
	LED	73	77	82	83	99	96	90	94
	銀粉	119	173	195	204	225	254	276	271
金属加工	伸銅品	65	90	106	106	100	94	90	91
熱 処 理	熱処理加工	48	57	67	72	71	74	72	73

# 損益計算書

単位:百万円

	2009年度 上期			2010年度 上期			比較増減		
	第1四半期	第2四半期	累計	第1四半期	第2四半期	累計	第1四半期	第2四半期	累計
<b>売上高</b>	<b>63,139</b>	<b>66,463</b>	<b>129,602</b>	<b>94,603</b>	<b>86,446</b>	<b>181,049</b>	<b>31,463</b>	<b>19,983</b>	<b>51,447</b>
売上原価	52,634	59,404	112,039	77,859	75,926	153,785	25,225	16,521	41,746
<b>売上総利益</b>	<b>10,505</b>	<b>7,058</b>	<b>17,563</b>	<b>16,743</b>	<b>10,520</b>	<b>27,264</b>	<b>6,238</b>	<b>3,461</b>	<b>9,700</b>
販売費及び一般管理費、開発研究費	6,214	6,069	12,284	6,662	6,565	13,227	447	495	943
<b>営業利益</b>	<b>4,290</b>	<b>988</b>	<b>5,279</b>	<b>10,081</b>	<b>3,954</b>	<b>14,036</b>	<b>5,791</b>	<b>2,966</b>	<b>8,757</b>
営業外収益	875	1,366	2,242	1,646	1,158	2,804	770	△ 208	561
（受取利息及び受取配当金）	( 439)	( 76)	( 515)	( 415)	( 38)	( 454)	( △ 23)	( △ 37)	( △ 61)
（持分法投資利益）	( △ 219)	( 575)	( 355)	( 725)	( 586)	( 1,311)	( 944)	( 11)	( 955)
（その他の収益）	( 656)	( 714)	( 1,370)	( 505)	( 533)	( 1,038)	( △ 150)	( △ 181)	( △ 332)
営業外費用	1,635	1,108	2,744	1,095	1,167	2,262	△ 540	58	△ 481
（支払利息）	( 767)	( 709)	( 1,477)	( 596)	( 560)	( 1,157)	( △ 171)	( △ 148)	( △ 319)
（その他の費用）	( 868)	( 399)	( 1,267)	( 499)	( 606)	( 1,105)	( △ 368)	( 207)	( △ 161)
<b>経常利益</b>	<b>3,530</b>	<b>1,246</b>	<b>4,777</b>	<b>10,632</b>	<b>3,945</b>	<b>14,578</b>	<b>7,101</b>	<b>2,699</b>	<b>9,801</b>
特別利益	75	91	167	86	38	124	10	△ 53	△ 42
（固定資産売却益）	( 42)	( 14)	( 57)	( 3)	( 7)	( 10)	( △ 39)	( △ 7)	( △ 47)
（投資有価証券売却益）	( 0)	( 0)	( 0)	( 38)	( 0)	( 38)	( 38)	( 0)	( 38)
（その他）	( 32)	( 76)	( 109)	( 44)	( 31)	( 75)	( 11)	( △ 45)	( △ 34)
特別損失	461	1,007	1,468	235	1,440	1,676	△ 225	433	208
（固定資産除却損）	( 129)	( 152)	( 282)	( 53)	( 83)	( 136)	( △ 76)	( △ 68)	( △ 145)
（投資有価証券評価損）	( 17)	( 9)	( 26)	( 14)	( 1,093)	( 1,107)	( △ 2)	( 1,083)	( 1,081)
（減損損失）	( 0)	( 183)	( 183)	( 0)	( 59)	( 59)	( 0)	( △ 124)	( △ 124)
（事業整理損失、構造改革費用）	( 184)	( 470)	( 655)	( 0)	( 0)	( 0)	( △ 184)	( △ 470)	( △ 655)
（その他）	( 129)	( 190)	( 320)	( 168)	( 204)	( 372)	( 38)	( 13)	( 51)
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>3,145</b>	<b>330</b>	<b>3,475</b>	<b>10,483</b>	<b>2,543</b>	<b>13,026</b>	<b>7,338</b>	<b>2,212</b>	<b>9,550</b>
法人税等	1,332	42	1,375	3,172	1,189	4,361	1,839	1,146	2,986
少数株主損益	178	41	220	787	306	1,094	609	264	873
<b>当期純利益</b>	<b>1,633</b>	<b>246</b>	<b>1,879</b>	<b>6,522</b>	<b>1,047</b>	<b>7,570</b>	<b>4,889</b>	<b>801</b>	<b>5,690</b>

# 連結決算 前年比(セグメント別・上期)

	2009年度上期			2010年度上期			比較増減			売上高、営業利益増減の内訳																																																								
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益																																																									
環境 リサイクル	275	9	7	370	12	12	94	2	4	リサイクル部門は、家電や電子部品の回収が好調であり、増収(+85億円)増益(+9億円)であった。ウエステック(中間廃棄物処理)部門は、エコシステム千葉の新炉稼働増など増集荷増処理を図り増収(+14億円)だが、償却費負担増により減益(△6億円)となった。																																																								
製錬	661	15	17	904	52	64	242	37	46	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">営業利益 前期比</th> <th>億円</th> </tr> <tr> <th></th> <th>差量</th> <th>為替・条件</th> <th>時価簿価差</th> <th>時価評価</th> <th>半製品転売</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>銅</td> <td>1</td> <td>△ 1</td> <td>△ 7</td> <td>△ 7</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>レアメタル</td> <td>28</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>△ 1</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>亜鉛</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>△ 3</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>△ 13</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>34</td> <td>9</td> <td>△ 10</td> <td>△ 3</td> <td>13</td> <td>△ 5</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>	営業利益 前期比							億円		差量	為替・条件	時価簿価差	時価評価	半製品転売	その他	計	銅	1	△ 1	△ 7	△ 7	11	7	3	レアメタル	28			0		△ 1	28	亜鉛	6	10	△ 3	4	2	△ 13	5	共通						1	1	営業利益	34	9	△ 10	△ 3	13	△ 5	37
営業利益 前期比							億円																																																											
	差量	為替・条件	時価簿価差	時価評価	半製品転売	その他	計																																																											
銅	1	△ 1	△ 7	△ 7	11	7	3																																																											
レアメタル	28			0		△ 1	28																																																											
亜鉛	6	10	△ 3	4	2	△ 13	5																																																											
共通						1	1																																																											
営業利益	34	9	△ 10	△ 3	13	△ 5	37																																																											
電子材料	217	17	17	338	39	40	120	21	22	半導体需要が回復し、Ga、In、化合物半導体が増販。また窒化物半導体も黒字化し、半導体部門は増収(+35億円)増益(+10億円)。電子材料は太陽電池向けなど銀粉の販売量は+64%となり、増収(+77億円)増益(+5億円)。また機能材料も鉄粉・キャリア粉・フェライト粉などの販売量が回復したことに加え生産性改善し、増収(+7億円)増益(+6億円)。																																																								
金属加工	235	14	17	373	26	26	137	12	8	金属加工部門は、自動車や半導体市場の回復を受け伸銅品の販売を伸ばし(+25%)、増収(+99億円)増益(+4億円)。めっき部門は、PCや携帯電話向け需要の回復や新規顧客獲得を図り増収(+9億円)増益(+2億円)。サマールデバイス(回路基板)部門は、外需含め産業機械や電鉄需要が回復。歩留まりなど生産性改善も図り、増収(+9億円)増益(+3億円)となった。																																																								
熱処理	62	△ 2	△ 2	77	5	5	15	8	7	自動車業界の回復基調を受け、熱処理加工部門では受注増加し(+42%)、増収(+15億円)増益(+6億円)。工業炉は前期並みの販売となったが利益率増加させ増益(+2億円)であった。																																																								
その他 全社・消去	△ 156	△ 1	△ 9	△ 253	3	△ 2	△ 97	5	7	サポート会社群の収益改善、連結調整など。																																																								
合計	1,296	52	47	1,810	140	145	514	87	98																																																									

# 経常利益 増減要因分析

## (セグメント別・上期 前年比)

単位:億円

2010年度上実績－2009年度上実績	環境・リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
為替・金属価格、買鉱契約の変動による影響		9					9
払出原料 差損益(ヘッジ損益、低価法含む)		△ 14		△ 2			△ 16
実収差量(価格差)		22					22
為替・金属価格相場変動による影響 計	0	17	0	△ 2	0	0	15
実収差量(量差)		12					12
事業環境の変化による受注増減ほか	17	1	23	12	9		62
事業環境の変化 計	17	13	23	12	9	0	74
減価償却費の増減額	△ 8	△ 1	1	3			△ 5
持分法損益	2	8	△ 0	0		△ 0	9
その他(半製品転売ほか)	△ 6	8	△ 1	△ 4	△ 2	7	1
その他 計	△ 13	16	△ 1	△ 2	△ 2	7	5
合 計	4	46	22	8	7	7	98

# 2010年度連結決算見込

単位：億円

	2009年度 実績	2010年度 見込	増減
売上高	3,074	3,600	526
営業利益	137	225	88
経常利益	138	230	92
当期純利益	43	115	72

## 為替、金属価格

	2009年度		2010年度		<参考>直近 10月平均
	上期平均	下期平均	上期平均	下期前提	
為替：(¥/\$)	95.5	90.2	89.0	80.0	81.9
銅：(\$/t)	5,260	6,940	7,135	7,200	8,292
亜鉛：(\$/t)	1,617	2,251	2,020	2,000	2,372
インジウム：(\$/kg)	332	480	547	500	563

# 2010年度下期 前提条件と感応度 (営業利益／半期)

単位：百万円

	前提条件	変動幅	感応度 (差量・原料条件)
為替	80.0 円/\$	±1 円/\$	130
銅	7,200 \$/t	±100 \$/t	20
亜鉛	2,000 \$/t	±100 \$/t	160
インジウム	500 \$/kg	±100 \$/kg	290

※ 感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



# 連結決算見込 前年比較(セグメント別)

単位: 億円

	2009年度実績			2010年度見込			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境 リサイクル	648	21	23	760	30	29	111	8	5
製錬	1,555	30	33	1,790	61	76	234	30	42
電子材料	502	48	49	650	68	71	147	19	21
金属加工	604	32	38	690	48	45	85	15	6
熱処理	134	1	1	160	13	12	25	11	10
その他 全社・消去	△ 371	3	△ 7	△ 450	5	△ 3	△ 78	1	4
合計	3,074	137	138	3,600	225	230	525	87	91